



南知多のふくし

編集・発行 / 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘1番地 ☎0569-65-2687



♪サンタクロースがやってきました♪

昨年12月、師崎地区ふれあい昼食会で、クリスマス会が催されました。今年も、本物？のサンタさんからプレゼントをいただき、皆さんニコニコです。あれ、このサンタさん誰かに似ていませんか？来年は、みなさんの地区の昼食会に現れるかも。

目次

- | | |
|---------------------|------------------------|
| P1 ふれあい昼食会の様子(師崎地区) | P2 新年のごあいさつ |
| P3 厚労省、郡社協表彰について | P4 赤い羽根共同募金入賞作品・募金中間報告 |
| P5 福祉実践教室の様子 | P6 精神保健福祉ボランティア講座のご案内 |



新年を迎えて

南知多町社会福祉協議会

会長 内藤 宗充



明けましておめでとうございます。皆様にはお揃いでよき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。又旧年中は、社会福祉協議会に対し深いご理解と数多くのご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年も、各地で大きな災害が相次いで起きました。火山噴火や地震、そして台風・豪雨・竜巻などによる重大災害が多発し、その都度自然の猛威を思い知らされました。今回色々な災害報道などで、緊急一次対応として地域住民による支え合い・助け合いが素早く一体となつて展開され、「人と人との繋がり大切さ」や「人の温もりの大切さ」を改めて

思い知らされ「人は一人で生きて行く事は難しい」と言う事を再認識しました。私共にとつて、安全・安心は最優先の課題です。新たな2015年が始まりましたが、どこの地域であれ、災害のないことを祈らずにはられません。

さて最近、先行き不安、不透明、介護五〇〇万人の時代と言う言葉をよく耳にします。とりわけ、少子高齢化や核家族化の進展、個人の価値観の多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあり、地域で抱える福祉課題の解決が困難化してきました。地域福祉の推進を担う南知多町社会福祉協議会としても「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らす事が出来る福祉のまちづくり」を基本方針に掲げて地域住民、行政、民間事業所など多くの方々の協力を得ながらネットワークの構築に努めています。しかしながら、限られた人材の中での福祉サービスの質と満足度の向上、合わせて健全な財政運営の両立を図りながらの推進に苦慮しています。このような中、地域で孤立しがちな高齢者、手助けが必要な高齢者や障がい者が日々安心して暮らして行くためには、公的サービスだけでは支えきれない部分も多く、地域住民による助け合い・支え合いと公的な福祉サービスの一体となつて展開される事が大切となってきます。

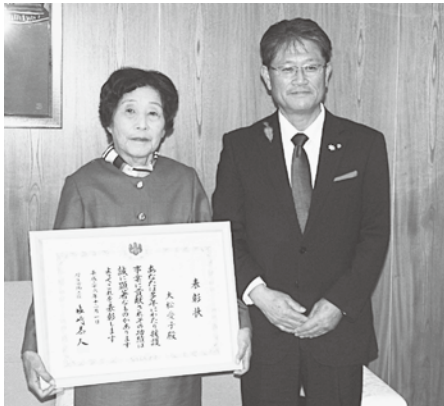
まずは身近な地域が力を合わせて自分達の力で「地域ぐるみの見守りサポーター」を増やすなど「自分達に出来ることを考え、備え」地域福祉を高めながら、安心して生活できる様に環境を整え、人との出会い、ふれあいを大切にして行く事も必要かと思えます。ぜひ積極的な参加とご協力をお願い致します。

新たなこの一年、皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



厚生労働大臣表彰受賞

昨年12月1日、平成26年度援護事業功労者として本町遺族会婦人部長の大松愛子さんが厚生労働大臣表彰を受けられました。



石黒町長への表敬訪問にて

この受賞は、多年にわたって戦傷病者、戦没者遺族、未帰還者留守家族等の援護事業に携わり、功績が顕著な方に対しその功績をたたえるとともに、その労苦に報いるため行われたもので、全国で94名、愛知県で4名選出されています。

大松さんは、平成22年には、愛知県知事表彰も受賞されており、現在も、知多郡遺族会婦人部長、愛知県遺族会女性部理事としても、ご活躍されています。

知多郡社会福祉協議会長表彰受賞



昨年11月30日、第17回知多郡社会福祉大会が挙行政され、社会福祉事業功労者として、本町からは、下記の10名の方々が知多郡社会福祉協議会長表彰を受けられました。

この表彰は、多年にわたって社会福祉事業に尽力し、その功績が顕著な方を表彰し、その労苦に報いるとともに、今後の社会福祉の発展に寄与しようとい行われました。

受賞者(敬称略)

民生委員・児童委員
 民生委員・児童委員
 遺族会
 遺族会
 地域ボランティア
 地域ボランティア
 地域ボランティア
 老人クラブ連合会
 老人クラブ連合会
 人権擁護委員

磯部 洋子
 名村 直高
 間瀬 巖
 大松 愛子
 日比 恭子
 木村 祝子
 橋本久美子
 日比 忠男
 相川 富雄
 熊澤 智美



本町の代表として、南知多町遺族会長、間瀬 巖さんが受領されました。

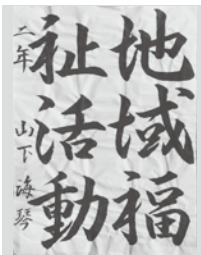
受賞者の皆様、本当にめでとうございました。

長年にわたるご尽力に、心より敬意を表しますとともに、これからのご活躍を祈念いたします。

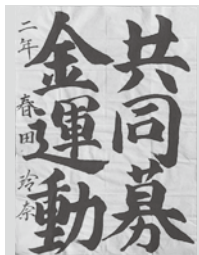
赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入選作品

平成26年度も町内全小中学校よりポスター152点・書道460点と昨年を上回るたくさんのご応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、6作品が県の入選に、10作品が町の入選となりました。おめでとうございます。ここに掲載させていただき、榮譽を称えます。なお、各地サービスセンターにて、地元入選作品を展示いただいております。(敬称略)

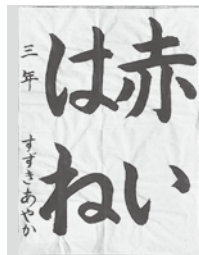
県入選作品



豊浜中学校2年
山下 海琴



師崎中学校2年
春田 玲奈



日間賀小学校3年
鈴木 彩佳



内海小学校1年
小河 幸弘

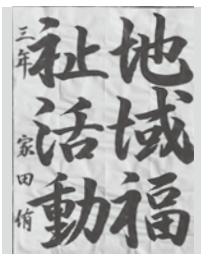


内海小学校3年
中村 優亜



大井小学校5年
池戸 那智

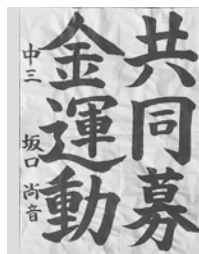
町入選作品



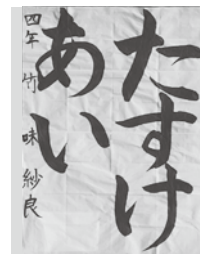
豊浜中学校3年
家田 侑



師崎中学校3年
藤田 藍



日間賀中学校3年
坂口 尚音



大井小学校4年
竹味 紗良



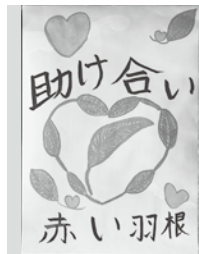
篠島小学校6年
辻 永都



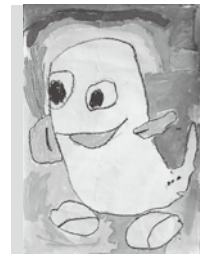
内海小学校2年
高原 夏蓮



内海小学校4年
小河 幸実花



豊浜小学校4年
石黒 紗穂



篠島小学校1年
新美 琳世



日間賀小学校4年
杉浦 早里那

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

12月11日現在募金額 **3,271,400円**

ご協力くださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

南知多町共同募金委員会



福祉実践教室開催中

今年度も町内全小中学校参加による福祉実践教室が、学校の先生方、講師の皆様のご協力により開催されています。障がいや福祉に対する理解が深まるきっかけになったことでしょう。



視覚障がいを理解する点字体験



講師と児童がいっしょ給食をいただきました。視覚障がいがあっても、おかず等の配置を説明してもらえば、給食も問題なく食べることができます。環境を整えば、不自由さは、感じられません。



自閉症の疑似体験。
ウォーリーさんがわかりやすく
伝えてくれました。



肢体不自由を理解する車いす体験



視覚障がい者を理解するガイドヘルプ体験

障がいがあってもなくても、一人ひとりみんな違います。そうした「違い」を大切にしながら、お互いを認めあっていくことができるようになりたいですね。



聴覚障がいを理解する手話体験

精神保健福祉ボランティア講座

～地域支援について考える～

美浜町・南知多町社会福祉協議会では、精神障がいに関心がある方を対象にボランティア養成講座を開催してきましたが、今年度は、心療クリニック・パティオちたの院長先生をお招きして、「心の病」を中心に、心の病や精神障がいがあっても地域の中で生きていくことについて、一緒に考えてみたいと思います。

どなたでも参加いただけます。お気軽にお申し込みください。

講師

心療クリニック・
パティオちた 院長
みず の のぶ よし

水野 信義 氏

日時

平成27年2月19日(木)

午後1時30分～4時30分

会場

半田保健所美浜保健分室
2階大会議室

美浜町大字河和字上前田403

【講師略歴】

1943 (昭和18)年 岐阜県生まれ

68年 名古屋大学医学部卒業 (学生時代アパシー、対人恐怖、強迫症状で悩む)

68年 済生会静岡病院で研修

69年 精神科医となり、名大病院、静岡県立養心荘病院で研修

76年 名大病院助手

82年 半田市立半田病院精神科心療科部長

91年 日本福祉大学社会福祉学部教授 (精神保健学)

かたわら市立半田病院、ついで知多市民病院で非常勤医師

1996年～2004年にかけて

イタリア (トリエステ、ペルージア)、イギリス (ケンブリッジ)、アメリカ (ファウン

テンハウス) の精神医療の視察、国内の「べてるの家」(北海道)、「麦の郷」(和歌山県)、

「クリニックタダ」(静岡県) などの見学を行った。

2006年 知多市にて心療クリニック・パティオちた (心療内科・精神科・精神科デイケア) 開業

<資格> 日本精神神経科学会専門医、日本心身医学会専門医、臨床心理士

<研究会など地域での活動>

メンタルセミナーちた (事務局)、メンタルフレンド東海 (世話人)

愛知県精神神経科診療所協会 (理事)、知多半島地域こころ健康づくり連絡協議会 (会長)

内容

1. 講話「心の病への地域支援を考える」

2. 受講生交流会

あなた自身の「こころ」は、あったかいですか。

あなたの家庭は、あったかいですか。

障害を持った人に対して、あなたの住む町は、あったかいですか。

「こころ」があったかくなる、

そんな地域をつくっていくために、一緒に考えてみませんか。

■お申し込み：2月6日(金)までに電話・FAX・メールで下記までお申込みください。

〔申込み・問い合わせ〕

社会福祉法人南知多町社会福祉協議会

TEL 65-2687 FAX 65-2913

E-mail info@minamichita-shakyo.com

■主催

社会福祉法人美浜町社会福祉協議会

社会福祉法人南知多町社会福祉協議会

■協力

NPO法人かもめ福祉会